



ネットワーク設定

この章は、次の項で構成されています。

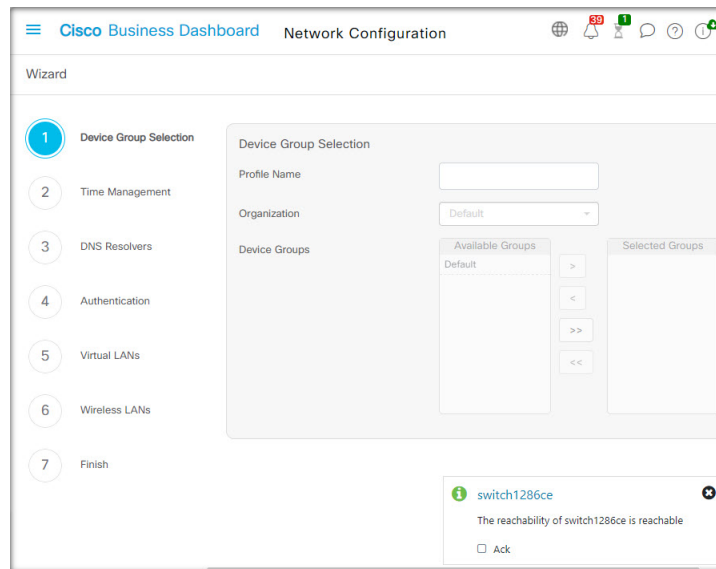
- [ネットワーク設定について](#) (1 ページ)
- [ウィザードの使用方法](#) (1 ページ)
- [時刻管理の設定](#) (2 ページ)
- [DNS リゾルバの設定](#) (4 ページ)
- [認証の設定](#) (5 ページ)
- [仮想 LAN の設定](#) (6 ページ)
- [ワイヤレス LAN の設定](#) (7 ページ)
- [ワイヤレス無線の設定](#) (9 ページ)
- [ゲストポータルの設定](#) (10 ページ)

ネットワーク設定について

[Network Configuration] ページでは、通常、ネットワーク内の一部またはすべてのデバイスに適用されるさまざまな設定パラメータを定義できます。これらのパラメータには、時刻設定、ドメイン名サービス、管理者の認証、仮想 LAN およびワイヤレス LAN などの設定が含まれています。これら各分野の設定プロファイルを個別に作成できます。また、ウィザードを使用して、各分野のプロファイルを1つのワークフローで作成することもできます。設定プロファイルは1つ以上のデバイスグループに適用された後、デバイスにプッシュされます。

ウィザードの使用方法

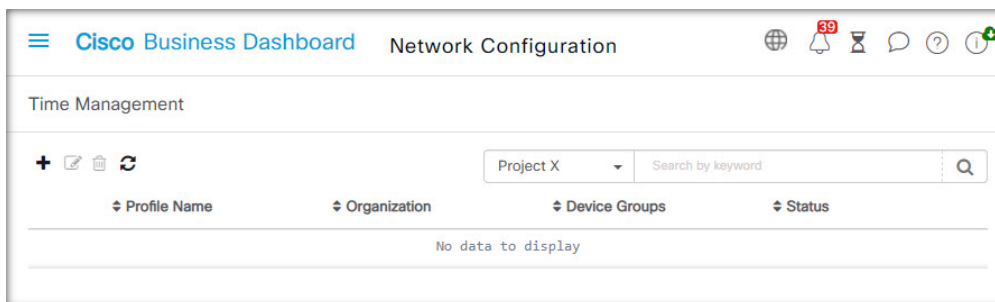
ウィザードを使用すると、ネットワーク設定の要素ごとに設定プロファイルを作成し、それらのプロファイルを1つ以上のデバイスグループに1つのワークフローで割り当てることができます。



1. [Network Configuration] > [Wizard] に移動します。
2. [Device Group Selection] 画面で、この設定のプロファイル名を入力し、組織を選択し、設定する 1 つ以上のデバイス グループを選択します。
3. [Next] をクリックします。
以降の各画面で、必要に応じて設定を選択します。これらのパラメータの詳細については、以降のセクションを参照してください。
4. 各画面で設定を行い、[Next] をクリックします。
このプロファイルの特定の画面で設定を行わない場合は、[Skip] をクリックします。
5. 前の画面に戻る場合は、[Back] をクリックするか、左側の見出しをクリックします。
6. 設定を完了し、最終画面で設定を確認します。[Finish] をクリックして、選択したデバイスに設定を適用します。

時刻管理の設定

[Time Management] ページでは、ネットワークのタイムゾーン、夏時間、NTP サーバを設定できます。以下のセクションでは、時刻設定プロファイルを作成、変更、削除するための手順を示します。



時刻管理設定プロファイルを作成

1. [Network Configuration] > [Time Management] に移動します。
2. + (プラス) アイコンをクリックして新しいプロファイルを追加します。
3. [Device Group Selection] セクションで、この設定のプロファイル名を入力し、組織を選択し、設定する 1 つ以上のデバイスグループを選択します。
4. [Time Setting] セクションで、ドロップダウン リストから適切なタイムゾーンを選択します。
5. 必要に応じて [Daylight Saving] を有効にします。そのためには、チェックボックスをオンにし、夏時間調整用のパラメータをフィールドに入力します。固定の日付か繰り返しパターンを指定できます。また、使用するオフセットを指定することもできます。
6. 必要に応じて、Network Time Protocol (NTP) を有効にします。そのためには、時刻同期の [Use NTP] セクションで、チェックボックスをオンにします。ボックスに、1 つ以上の NTP サーバアドレスを指定します。
7. [Save] をクリックします。

時刻管理設定プロファイルを変更

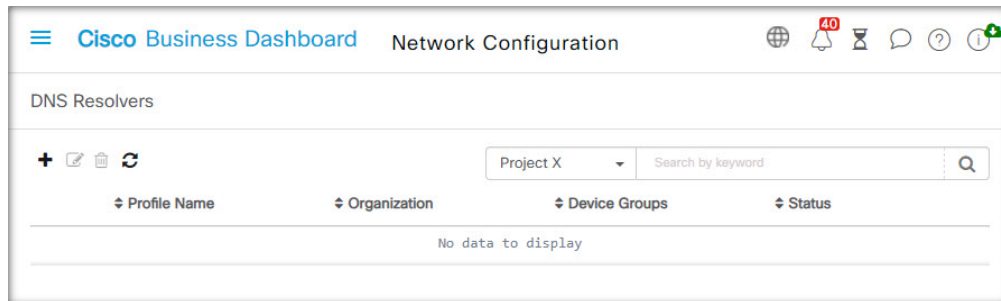
1. 変更するプロファイルの横にあるオプション ボタンを選択し、[Edit] アイコンをクリックします。
2. プロファイル設定に必要な変更を加え、[Update] をクリックします。

時刻管理設定プロファイルを削除

1. 削除する必要があるプロファイルの横にあるオプション ボタンを選択します。
2. [Delete] アイコンをクリックします。

DNS リゾルバの設定

[DNS Resolvers] ページでは、ネットワークのドメイン名とドメイン名サーバを設定できます。以下のセクションでは、DNS リゾルバ設定プロファイルを作成、変更、削除するための手順を示します。



DNS リゾルバ設定プロファイルを作成

1. [Network Configuration] > [DNS Resolvers] に移動します。
2. + (プラス) アイコンをクリックして新しいプロファイルを追加します。
3. [Device Group Selection] セクションで、この設定のプロファイル名を入力し、組織を選択し、設定する 1 つ以上のデバイスグループを選択します。
4. ネットワークのドメイン名を指定します。
5. 1 つ以上の DNS サーバアドレスを指定します。
6. [Save] をクリックします。

DNS リゾルバ設定プロファイルを変更

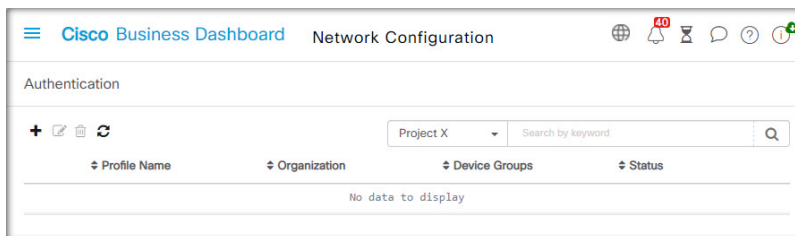
1. 変更するプロファイルの横にあるオプション ボタンを選択し、[Edit] アイコンをクリックします。
2. プロファイル設定に必要な変更を加え、[Update] をクリックします。

DNS リゾルバ設定プロファイルを削除

1. 削除するプロファイルの横にあるオプション ボタンを選択します。
2. [Delete] アイコンをクリックします。

認証の設定

[Authentication] ページでは、ネットワークデバイスへの管理ユーザーアクセスを設定し、ユーザーに基づいてネットワークアクセスを認証するときに使用する認証サーバー（RADIUS サーバー）を設定できます。以下のセクションでは、認証設定プロファイルを作成、変更、削除するための手順を示します。



認証設定プロファイルを作成

1. [Network Configuration] > [Authentication] に移動します。
2. +（プラス）アイコンをクリックして新しいプロファイルを追加します。
3. [Device Group Selection] セクションで、この設定のプロファイル名を入力し、組織を選択し、設定する 1 つ以上のデバイスグループを選択します。
4. オプションで、ローカルユーザー認証用に 1 つ以上のユーザー名とパスワードの組み合わせを指定します。+（プラス）アイコンをクリックすることでユーザを追加できます。
5. 複雑なパスワードの使用を義務付けることも選択できます。
6. オプションで、認証に使用する 1 つ以上の RADIUS サーバーを指定します。チェックボックスをオンにすると、Cisco Business Dashboard の認証への使用を有効にすることができます。
7. [Save] をクリックします。



(注) ネットワークアクセスを必要とするユーザーには、ネットワークアクセス権限を付与する必要があります。詳細については、「[ユーザー](#)」を参照してください。



(注) ネットワークアクセス認証に Cisco Business Dashboard を使用する場合は、ダッシュボードにおいて公的認証局による署名付きの証明書が取得されていることを強くお勧めします。これを行わないと、ほとんどのクライアントデバイスでユーザーに対して証明書の警告が表示され、一部のクライアントでは認証処理が一切続行されません。

認証設定プロファイルを変更

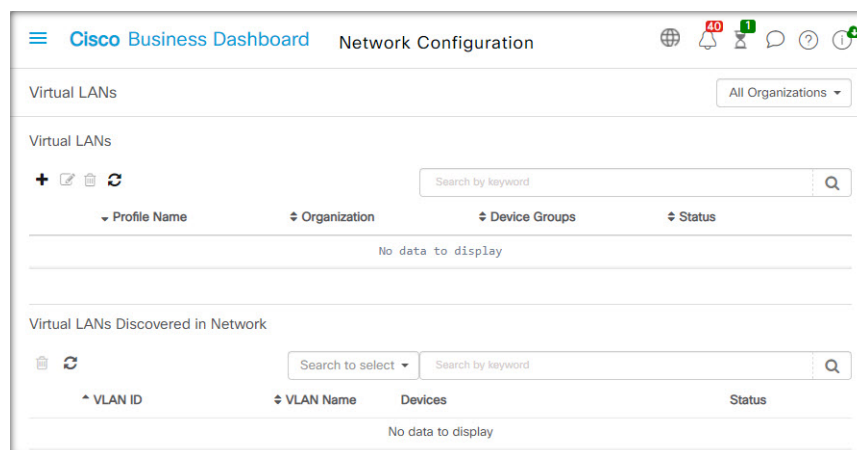
1. 変更するプロファイルの横にあるオプション ボタンを選択し、[Edit] アイコンをクリックします。
2. プロファイル設定に必要な変更を加え、[Update] をクリックします。

認証設定プロファイルを削除

1. 削除する必要があるプロファイルの横にあるオプション ボタンを選択します。
2. [Delete] アイコンをクリックします。

仮想 LAN の設定

[Virtual LANs] ページでは、スイッチネットワークを複数の仮想ネットワーク (VLAN) に分割できます。Cisco Business ダッシュボード で設定されなかったネットワーク内の既存の VLAN も、このページの別のテーブルに表示されます。以降のセクションでは、仮想 LAN 設定プロファイルを作成、変更、削除するための手順を示します。



仮想 LAN を作成

1. [Network Configuration] > [Virtual LANs] に移動します。
2. + (プラス) アイコンをクリックして新しい VLAN を追加します。
3. [Device Group Selection] セクションで、この設定のプロファイル名を入力し、組織を選択し、設定する 1 つ以上のデバイスグループを選択します。
4. VLAN のわかりやすい名前と、使用する VLAN ID を指定します。VLAN ID は 1 ~ 4094 の範囲内の数値である必要があります。
5. 1 つのプロファイルを使用して複数の VLAN を作成できます。このプロファイル内に追加の VLAN を作成する場合は、[Add Another] をクリックし、手順 4 に戻ります。

6. [Save] をクリックします。新しい VLAN が、選択したグループ内のすべての VLAN 対応デバイスで作成されます。

新たに作成した VLAN の VLAN ID が、デバイスグループ内のデバイスにすでに存在する既存の VLAN と一致する場合、その VLAN は Cisco Business ダッシュボードによって採用され、検出された仮想 LAN テーブルから削除されます。

VLAN を変更

1. 変更する VLAN の横にあるオプションボタンを選択し、[Edit] アイコンをクリックします。
2. VLAN の設定に必要な変更を加え、[Update] をクリックします。

VLAN を削除

削除する VLAN の横にあるオプションボタンを選択し、[Delete] アイコンをクリックします。

Cisco Business ダッシュボードによって作成されていない VLAN を削除

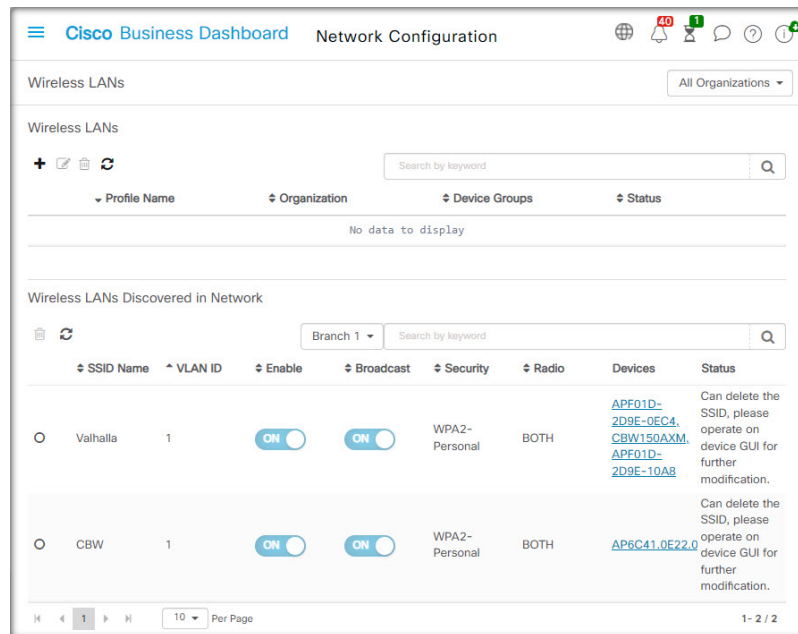
検出された VLAN の表で、削除する 1 つ以上の VLAN の横の [Delete] アイコンをクリックします。



(注) VLAN 1 は削除できません。

ワイヤレス LAN の設定

[Wireless LANs] ページでは、環境内のワイヤレスネットワークを管理できます。ネットワーク内の、Cisco Business ダッシュボードで設定されていない既存のワイヤレス LAN も個別の表に表示されます。以降のセクションで、ワイヤレス LAN 設定プロファイルを作成、変更、削除するための手順について説明します。



ワイヤレス LAN を作成

1. [Network Configuration] > [Wireless LANs] に移動します。
2. + (プラス) アイコンをクリックして新しいワイヤレス LAN プロファイルを追加します。
3. [Device Group Selection] セクションで、プロファイル名を入力し、組織を選択し、設定する 1 つ以上のデバイスグループを選択します。
4. + (プラス) アイコンをクリックして新しい SSID を追加します。
5. ワイヤレス LAN の SSID 名と、関連付けが必要な VLAN ID を指定します。VLAN ID は 1 ~ 4095 の範囲の数値である必要があります。ネットワーク内にすでに存在していなければ、新しい VLAN が自動的に作成されます。
6. 必要なセキュリティのタイプを選択します。
 セキュリティタイプとして [Guest] を選択した場合は、ゲストポータルで使用する認証のタイプを指定する必要があります。ユーザー名/パスワード、Web での同意、電子メールアドレスなどのオプションがあります。これらのオプションの詳細については、[ゲストポータルの設定 \(10 ページ\)](#) を参照してください。
 [Enterprise] セキュリティタイプを選択した場合は、使用する優先 RADIUS サーバーを含むデバイスに認証プロファイルを割り当てるようにしてください。このデバイスに対して定義されているものがない場合、Cisco Business Dashboard がデフォルトで使用されます。
7. 必要に応じて [Advanced Settings] をクリックして展開し、[Broadcast]、[Application Visibility]、[Local Profiling]、および [Radio] の設定を要件に合わせて変更します。

8. [Save] をクリックして続行するか、[Cancel] をクリックして変更を破棄します。
9. 1つのプロファイルを使用して複数のワイヤレス LAN を作成できます。このプロファイルで追加のワイヤレス LAN を作成する場合は、手順 4 に戻ります。
10. [Save] をクリックします。新しい WLAN が、選択したグループ内のワイヤレス アクセスポイント機能を持つすべてのデバイスで作成されます。

新たに作成したプロファイルのワイヤレス LAN 設定が、デバイスグループ内のデバイスにすでに存在する既存のワイヤレス LAN と一致する場合、そのワイヤレス LAN が Cisco Business ダッシュボードによって採用され、検出されたワイヤレス LAN のテーブルから削除されます。

ワイヤレス LAN を変更

1. 変更するワイヤレス LAN の横にあるオプションボタンを選択し、[Edit] アイコンをクリックします。
2. ワイヤレス LAN の設定に必要な変更を加え、[Update] をクリックします。

ワイヤレス LAN を削除

削除するワイヤレス LAN の横にあるオプションボタンを選択し、[Delete] アイコンをクリックします。



- (注) ワイヤレス LAN の作成時に仮想 LAN が自動的に作成された場合、ワイヤレス LAN が削除されても仮想 LAN は削除されません。仮想 LAN は [Virtual LANs] ページで削除できません。

Cisco Business ダッシュボードで作成されていないワイヤレス VLAN を削除

検出されたワイヤレス LAN のテーブルで、削除するワイヤレス LAN のオプション ボタンをクリックし、[Delete] アイコンをクリックします。場合によっては、特定のデバイスから WLAN を削除できないことがあります。その場合は、デバイス設定を直接変更することが必要です。

ワイヤレス無線の設定

[Wireless Radios] ページでは、環境内のワイヤレスネットワーク全体の無線周波数 (RF) 最適化を管理できます。[Wireless Radio] プロファイルを使用すると、アクセスポイントが環境に合わせてそのワイヤレス無線設定を自動的に調整するかどうかを制御できるだけでなく、不正なアクセスポイントと干渉源の検出やレポート作成を有効にすることもできます。

以降のセクションで、ワイヤレス無線プロファイルを作成、変更、削除するための手順について説明します。

ワイヤレス無線プロファイルの作成

1. **[Network Configuration]** > **[Wireless Radios]** に移動します。
2. **+** (プラス) アイコンをクリックして新しいワイヤレス無線プロファイルを追加します。
3. **[Device Group Selection]** セクションで、以下の手順を完了します。
 - この設定のプロファイル名を入力します。
 - 組織を選択します。
 - 設定する 1 つ以上のデバイスグループを選択します。
4. ネットワーク内のアクセスポイントで自動 RF 最適化を実行するかどうかを選択します。RF 最適化を有効にする場合は、**[Client Density]** と **[Traffic Type]** に適切な値を選択してください。
5. 必要に応じて、不正アクセスポイントの検出を有効にします。
6. 必要に応じて、干渉源の検出を有効にします。
7. **[Save]** をクリックします。

新しいワイヤレス最適化設定は、選択したグループ内の RF 最適化機能を備えたすべてのワイヤレスアクセスポイントに適用されます。

ワイヤレス無線プロファイルの変更

1. 変更するワイヤレス無線プロファイルの横にあるオプションボタンを選択し、**[Edit]** アイコンをクリックします。
2. RF 最適化の設定に必要な変更を加えて、**[Update]** をクリックします

ワイヤレス無線プロファイルの削除

1. 削除するワイヤレス無線プロファイルの横にあるオプションボタンを選択し、**[Delete]** アイコンをクリックします。

ゲストポータルの設定

[Guest Portals] ページでは、ゲスト ワイヤレス ネットワークに接続するときにゲストユーザーに表示される Web ページを集中管理できます。Cisco Business Dashboard は、組織ごとに 1 つのゲストポータルをホストします。各ポータルは、組織のアイデンティティを表すように個別にカスタマイズできます。

ゲストポータルは、複数のユーザー認証方法をサポートしていて、同じポータルが異なるネットワーク上の異なる認証方法を提示することができます。次の認証方法がサポートされています。

- ユーザー名/パスワード：各ゲストユーザーを事前にダッシュボードで定義し、ユーザー名とパスワードを割り当てる必要があります。その後、ワイヤレスネットワークに接続するときに、ゲストポータルにユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
- Webでの同意：ゲストユーザーに組織のアクセプタブルユースポリシーが提示され、ネットワークにアクセスするにはそのポリシーに同意する必要があります。
- 電子メールアドレス：ゲストユーザーは、ネットワークにアクセスする前に電子メールアドレスを入力するように求められます。電子メールアドレスはクライアントのユーザー名として記録され、ワイヤレスクライアントレポートおよびデバイスのユーザーインターフェイスに表示される場合があります。

各ゲストポータルの外観は、使用するフォントを含むすべてのテキストフィールドの変更、色の変更、背景とロゴの画像の更新によってカスタマイズすることができます。

ゲストポータルをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. [Network Configuration] > [Guest Portals] に移動します。
2. カスタマイズするゲストポータルのオプションボタンを選択し、[Edit] アイコンをクリックします
3. 表示されたフォームを使用して、キャプティブポータルの外観を更新します。テキストフィールドを変更したり、新しい画像をアップロードして背景やロゴとして使用したり、使用する色やフォントを変更したりすることができます。

ゲストポータルのコンテンツは、選択した認証方法に応じて若干異なります。ページ下部にあるタブを選択すると、さまざまなバージョンのポータル向けにフィールドが更新されます。

異なる認証方法のそれぞれで[Preview]ボタンをクリックすることで、変更を確認してから保存することができます。ポータルをデフォルトの外観に戻すには、右上の[Reset to defaults]ボタンをクリックします。

4. [Update] をクリックして変更内容を保存するか、[Cancel] をクリックして変更内容を消します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。